



## ワイワイ！しゃべり場朋有

「災害に備える私たちの心構え」～非常食と災害時のトイレについてみんなで考える～

10月21日(水)13時半から15時半まで 区民ひろば朋有でしゃべり場朋有が開催されました。参加者は55名と、イスを追加するほどの盛況ぶりで、地域の皆さんの関心の高さがうかがえました。



1. 豊島区防災危機管理課の北村さんの講演
2. 区民ひろば朋有の運営協議会のみなさんによる「非常食の試食」
3. 豊島区民社会福祉協議会「災害時のトイレについて考える」

災害時には断水や下水管の破損などで正常にトイレが使えない事態が考えられます。トイレを我慢して膀胱炎などになったり、水分を控えたために健康を損ねたりしないためにどうすればよいか、考えました。



アルファ米・お餅・チョコレートなどの非常食を試食



### 1、トイレが使えない、あるいは数が足りない場合の非常用トイレ

・市販の簡易トイレと、段ボール箱や新聞紙を使って手作りしたトイレを紹介

### 2、尿の処理方法

①給水効果の実験：ビニール袋に排尿して自宅にあるもので処理することを想定し、何がどの程度吸水に役立つか実験しました

- ・新聞紙(細かくちぎる)
- ・(庭や公園の)砂
- ・猫砂
- ・紙おむつ
- ・トイレ用凝固剤(区が提供した災害用)

身近にあるもので試しました。高齢者や乳幼児、ペットがいる家庭にはありそうですね。



★ 結果 →砂以外はうまく吸収されました。

### ②消臭効果

トイレが使えない状態が長くなると臭いも気になるため、消臭効果の実験もしました。新聞紙に吸収させた臭い付きの水に、コーヒークラス と 重曹 を振りかけるという方法で行いました。

★ 結果 →コーヒーかすはかなりの消臭効果がありましたが、重曹は、それほどの効果は認められませんでした。



コーヒーのいい香り♡

### 3、地域の防災設備など

- ・災害に備えるということで、手作りの地図を見ながら、朋有地域にある避難所や公園、災害時に使えるトイレ、マンホールトイレなどがどこにあるかを確認しました。
  - ・災害(携帯)用トイレが買えるお店のリストも配布しました。
- 終わりに、「災害に備えるという意識が薄いのがいちばんの問題点。このような機会に準備することが大切」と話し終了しました。



#### 事前の取り組み

社協CSWは、ふくろうの杜圏域(南池袋・高田地域ほか)担当も合わせて4名が事前準備を担当しました。社協登録の災害ボランティア、障がい者支援事業所「こかげ」職員、メロス言語学院の学生(外国人留学生)、区民ひろば朋有の運協メンバーなど のべ 18 名のみなさんが事前準備にかかりました。



実際に、一緒に地域で携帯用トイレを販売するお店をさがして歩いたり、留学生の祖国のトイレ事情を参考にしたり。段ボールトイレや、地域マップも制作しました。また、実験の物品を区民ひろばの職員や運営協議会の方から寄付していただくなど、まさに顔のみえる関係をつくる場となりました。

#### 社協災害ボランティア

社協登録の災害ボランティアさんも2名参加。先の東日本豪雨の被災地である常総市にボランティアにいった際の話もされました



※しゃべり場朋有は、世代間交流と地域での顔のみえる関係づくりを目的に、地域の課題などを語り合い考えあう場です

#### \*CSW より\*

今年度から不定期で、CSW通信を発行しております。  
CSW通信では、豊島区民社会福祉協議会のお知らせ、地域活動の紹介、私たちの活動内容の報告や日々感じたことなどを掲載し、皆さまにお知らせします。ぜひご意見ご感想などお寄せ下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会

コミュニティソーシャルワーク担当：松里・多村

〒170-0013 豊島区東池袋 2-38-10 区民ひろば朋有内

TEL/FAX 03-6844-3643

開所時間 月曜～金曜 8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)

